

# 北海道大学電子科学研究所助教公募要項

北海道大学電子科学研究所において、下記のとおり助教を公募いたします。

## 記

### 1. 所属研究部門及び公募人員

電子情報処理研究部門 スマート分子研究分野 助教1名（ただし、平成26年3月31日までは特任助教）

### 2. 研究分野の内容

本研究分野では、生体を凌駕する分子機能の合成化学的構築を目指している。そのために生体の有する多分子の連携に基づく高度な情報、運動、エネルギー関連機能の本質を理解し、人工分子系によってそれを再現または制御する仕組みを開発する。具体的な研究テーマは以下のとおりである。

- 1) 分子運動の精密制御：分子内回転運動を光によって厳密に ON-OFF 制御する光分子ブレーキ等の仕組みを設計し分子を合成する。
- 2) 分子レベルの変化をマクロな変化へと結びつける仕組みの開発：モーター蛋白に代表される分子機械の働きを模した液晶分子システムを構築する。
- 3) 生体分子機能の人工的制御：モーター蛋白の運動を光で動的に制御する光応答性分子を合成する。

これらの研究分野に興味があり、意欲的で活力のある若手研究者を希望する。

### 3. 担当授業・大学院との関係

- ・本学複数学部の学生を対象とする、全学教育科目授業を担当予定である。
- ・大学院生命科学院生命融合科学コースの大学院教育を担当予定である。

### 4. 応募資格

- ・博士の学位を有すること
- ・女性であること（男女雇用機会均等法第8条に該当。女性教員の割合が相当程度少ない現状を積極的に改善するための措置として女性に限定した採用を行うもの）（付記参照）
- ・外国での被教育歴・研究歴を有すること
- ・英語に堪能で、英語による講義・研究指導ができること  
（研究業績が同等レベルであれば、外国在住研究者（外国籍を含む）を優先的に採用することがある。）

### 5. 公募〆切

平成23年6月6日（月）必着。（封筒に「応募書類在中」と朱記し、書留で郵送すること）

### 6. 着任時期

平成23年8月1日（月）以降のできるだけ早い時期

### 7. 任期

8年（特任助教を経て平成26年4月1日付けで5年任期の助教に移行。業績等審査のうえ再任1回（3年）あり）

### 8. 提出書類

- ① 履歴書（写真添付）  
業績リスト（原著論文、総説及び解説論文、著書、国際及び国内学会における講演、特許及び工業所有権、等に種別すること）
- ② 主要論文の別刷り5編以内（各1部）
- ③ これまでの研究の概要（A4判2枚以内）
- ④ 研究計画（A4判2枚以内）
- ⑤ 研究助成金取得状況（科学研究費補助金、他省庁及び民間も含め、それぞれの種目、タイトル、代表、分担の区別、をつけること）。
- ⑥ 参考意見を求めることができる方（2名）の氏名及び連絡先

## 9. 書類送付先

〒001-0020 札幌市北区北 20 条西 10 丁目  
北海道大学電子科学研究所 電子情報処理研究部門 スマート分子研究分野  
玉置 信之 宛

## 10. 連絡・問い合わせ先

北海道大学 電子科学研究所 電子情報処理研究部門 スマート分子研究分野  
玉置 信之 電話：011 (706) 9356 (直通)、E-mail : [tamaoki@es.hokudai.ac.jp](mailto:tamaoki@es.hokudai.ac.jp)

## 11. 付 記

本公募は、平成21年度文部科学省科学技術振興調整費（女性研究者養成システム改革加速）事業に採択された本学提案課題「輝け、女性研究者！根を張れ、花咲け、実を結べ@北大」によるF3プロジェクト人事です。理学・工学・農学分野における女性研究者の定着および活躍促進を目指す本プロジェクトでは、敢えて女性のみを対象とする公募を行い、育つ能力と覚悟を持った優秀な女性研究者を本学の教育・研究になくてはならない教員として迎えるものです。（<http://f3project.ist.hokudai.ac.jp>）

採用後、本学での研究活動を円滑にスタートしていただけるよう、また本来の力を十分発揮していただけるよう、所属部局・研究室だけでなく本学人材育成本部・女性研究者支援室を中心に全学で支援します。出産・育児等の家庭生活との両立支援体制にも万全を期し、必要に応じて研究支援員を配置する等さまざまな支援策を用意しています。